

ぐるぐる回ると目が回るのはなぜ

目が回るひみつは、耳の中に

ぐるぐる回ると目が回るひみつは、じつは、耳のおくにある、内耳にあります。

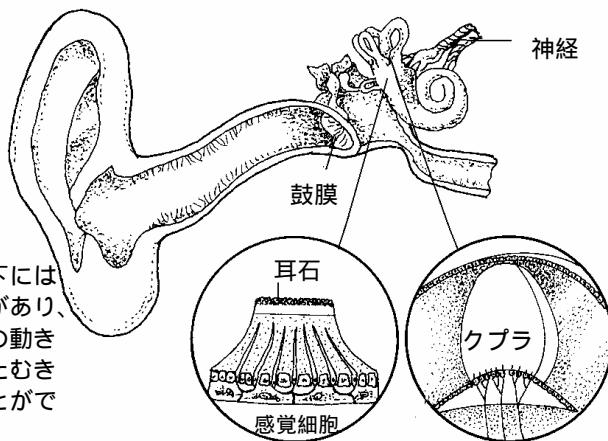
内耳には、体のかたむきや回転方向、どの方向にどのくらい強く動かされたかを感じとる、前庭および三半規管という、感覚器があります。

三半規管の根元にはふくらみがあり、その中には、感覚細胞をもつクプラというものがあります。そして、三半規管の中はリンパ液で満たされていて、体が回転したり動いたりすると、中のリンパ液が動くのでクプラも動き、動いていることを感じとるのです。

ぐるぐると何回も回転した後、急に止まった場合、体が止まった後も、リンパ液はしばらく回り続けるので、体がまだ回っているように感じます。これが、目が回るひみつです。

三半規管の3つの輪のはたらき

三半規管には、3つの輪がありますが、この3つの輪には、体が、今、どの方向に回っているかを、感じとるはたらきがあるのです。3つの輪のそれぞれが、前回りや後ろ回り、縦回り、横回りというような、回り方のちがいを感じとるのです。（監修・保志 宏）



半規管の下には前庭器官があり、中の耳石の動きで体のかたむきを知ることができる

3つの半規管の、ふくらんでいるところの中にはクプラがあり体の動きの変化や方向をとらえている



前庭器官と半規管のはたらきで、体のつり合いを保つことができる

